

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

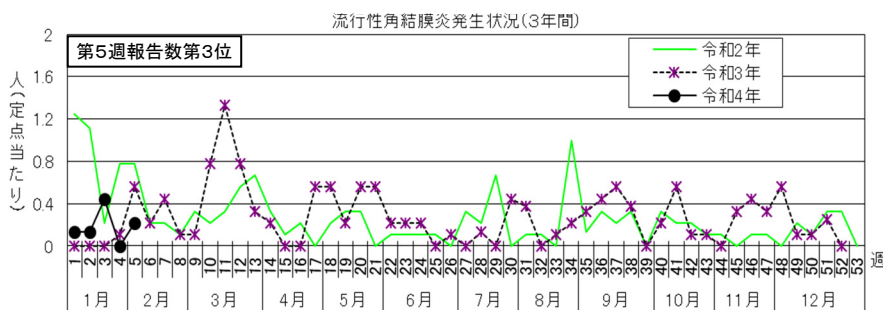
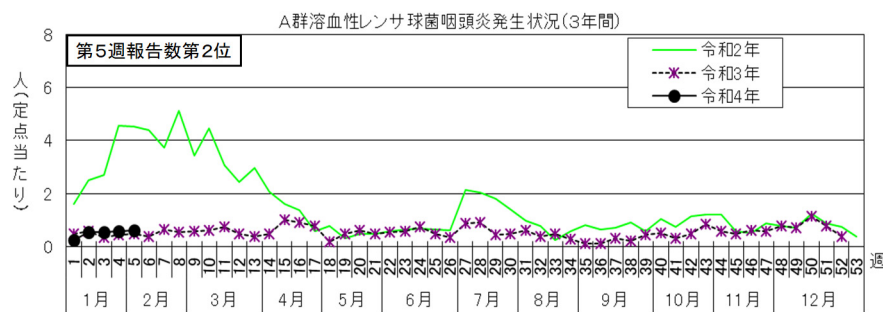
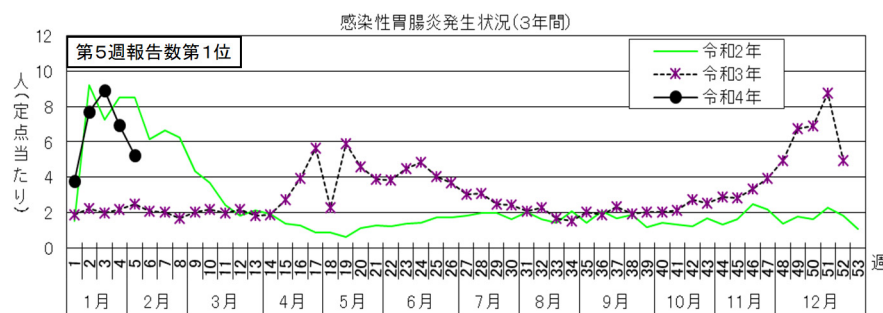
令和4年1月31日（月）～令和4年2月6日（日）〔令和4年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.27人と前週（6.95人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.62人と前週（0.59人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.22人と前週（0.00人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

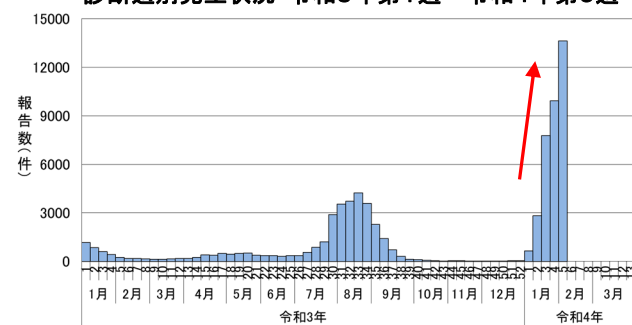


新型コロナウイルス感染症～症状が変化しています～

川崎市では、令和4年第5週（1月31日～2月6日）の新型コロナウイルス感染症の報告数が13617件と、3週連続で過去最多を更新しました。現在の流行の中心であるオミクロン株に感染した場合の症状は、第5波の際に主流であったデルタ株に感染した場合と比べて、軽症であることが多いとされています。また、海外のデータによると、咽頭痛の出現率が約1.9倍高いものの、嗅覚・味覚障害の出現率は約0.2倍といわれています。

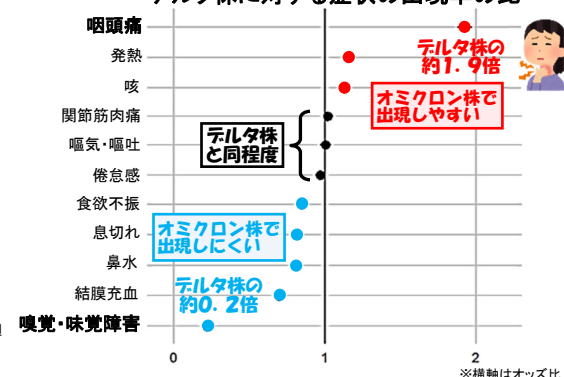
オミクロン株は、感染しても症状が軽く重症化しにくいとされていますが、高齢者や基礎疾患のある方では肺炎等を起こす可能性もあります。たとえ軽症であっても何らかの症状がみられた場合は、マスクを適切に着用し、人との接触は極力控えるようにしましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症
診断週別発生状況-令和3年第1週～令和4年第5週-



※令和4年第5週は川崎市新型コロナウイルス感染症モニタリング状況の陽性者数

オミクロン株における症状の出現状況
～デルタ株に対する症状の出現率の比～



UK Health Security Agency Investigation : SARS-CoV-2 variants of concern and variants under investigation in England 14 January 2022 より一部改変



川崎市
KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター
(問合せ先) 044-276-8250

令和4年2月8日作成